



阿波しらさぎ大橋受賞記念

橋梁シンポジウム



— 橋の博物館！ よしのがわ —

平成25年8月21日（水）

主催 徳島県・（公財）徳島県建設技術センター



『橋梁シンポジウム』 — 橋の博物館！ よしのがわ —

○目次

◇開会挨拶	1
徳島県知事 飯泉嘉門	
◇各賞の披露	2
土木学会田中賞	
全国街路事業コンクール 国土交通大臣賞	
全建賞	
照明学会普及賞	
英国構造技術協会 Huzband Prize	
◇基調講演	3
「橋梁の変遷 阿波しらさぎ大橋」	
渡邊 英一(京都大学工学部名誉教授)	
◇パネルディスカッション ～「橋の博物館！ よしのがわ」～	7
・コーディネーター	
飯泉 嘉門 徳島県知事	
・パネリスト	
渡邊 英一 京都大学工学部名誉教授	
西川 和廣 (一財)橋梁調査会 専務理事	
長尾 文明 徳島大学工学部建設工学科教授	
河西 龍彦 (一社)日本橋梁建設協会 保全委員会 幹事長	
武市 修一 (公財)徳島県建設技術センター理事長	
◇資料	23

○プロフィール

- ・基調講演講師(シンポジウム・パネリスト兼)
渡邊 英一(わたなべ えいいち)
京都大学工学部名誉教授

専門の構造力学分野の業績に加え、道路橋梁のアセットマネジメントシステムの開発や超大型浮体式海洋構造物、浮体橋の研究分野を新たに開拓。

土木学会副会長、阪神高速道路の長期維持管理及び更新に関する技術検討委員会委員長など要職を歴任。

- ・シンポジウム・パネリスト
西川 和廣(にしかわ かずひろ)
(一財)橋梁調査会 専務理事

建設省土木研究所橋梁研究室長として、橋梁に関する業務を数多くこなされ、阪神淡路大震災時には、橋梁の耐震補強工法の確立や道路橋示方書の改訂に携わられた。専門は橋の維持管理。

国土交通省 国土技術政策総合研究所長を最後に退職後、現職に就任。

- 河西 龍彦(かさい たつひこ)
(一社)日本橋梁建設協会 保全委員会 幹事長

これまで、主に鋼橋の設計、保全に関する業務に従事。東日本大震災では、協会として被災直後より現地調査を行い、各地で調査結果の報告や震災に備えた啓発活動を実施。

- ・シンポジウム・コーディネーター
飯泉 嘉門(いいずみ かもん)
徳島県知事

昭和59年自治省入省。郵政省地域情報化プロジェクト推進室長、総務省自治税務局企画課税務企画官などを経て、平成13年徳島県に出向し、商工労働部長、県民環境部長を歴任。

平成15年5月に徳島県知事に就任し、現在3期目。全国知事会副会長をはじめ政府関係機関等の要職にも就任。

- 長尾 文明(ながお ふみあき)
徳島大学工学部建設工学科教授

国土交通省四国地方整備局 総合評価地域小委員会委員、徳島県新技術等評価検討会議委員などを歴任。

主な研究テーマは、構造物の耐風性に関する研究、局所地形と風環境など。平成24年度には、日本風工学会賞(論文賞)を受賞。

- 武市 修一(たけいち しゅういち)
(公財)徳島県建設技術センター 理事長

徳島県入庁以降、末広大橋などの長大橋を担当。県土整備部長、政策監などを歴任し、平成25年度より徳島県建設技術センター理事長に就任。